

# 解剖学 [系統解剖学]

担当講座（分野）：解剖学講座（機能形態学分野）

第2学年 前期・後期

	講義	実習
前期	54 時間	21 時間
後期	45 時間	111 時間

## 学習成果（アウトカム）

ヒトの体の構造を理解するのを目的とするが、単に教科書に載っている名称の暗記に終わることなく、常に実習を主体とすることにより、形態の普遍性と変異を三次元的に理解し、形態の意義とその構造が存在する理由を個体発生的・系統発生的に理解できるようになる。さらに、歯科医師として歯科疾患の治療を行うに際し、局所解剖学的な知識は必要不可欠であるため、臨床上必須な構造の理解と応用力を実習を通して修得する。

## 事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

## 講義日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月3日（金） 1、2限	安藤禎紀講師 藤村朗教授	<b>歯の総論</b>  歯とはなにか、歯の用語、ヒトの臼歯の進化を理解する。 歯の形態を表現する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯の概念を説明できる。</li> <li>2. 歯の進化を説明できる。</li> <li>3. 進化と退化を区別できる。</li> <li>4. 歯の方向用語を説明できる。</li> <li>5. 歯列を説明できる。</li> <li>6. 左右側の鑑別点を説明できる。</li> <li>7. 歯の大きさをノギスを使って計測できる。</li> <li>8. 計測した歯を3倍大でスケッチできる。</li> </ol>
4月7日（火） 1限	安藤禎紀講師	<b>骨学：頭蓋冠</b>  頭蓋骨を構成する骨を理解し、それぞれの縫合と形成を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 頭蓋骨の基本的配列を説明できる。</li> <li>2. 頭蓋骨相互の関節（縫合）を説明できる。</li> <li>3. 縫合の加齢変化を説明できる。</li> </ol>
4月10日（金） 1、2限	安藤禎紀講師	<b>上・下顎切歯</b>  ヒトの切歯を理解し、スケッチができる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 切歯の概念を説明できる。</li> <li>2. 上顎中切歯を説明できる。</li> <li>3. 上顎側切歯を説明できる。</li> <li>4. 下顎中切歯を説明できる。</li> <li>5. 下顎側切歯を説明できる。</li> <li>6. 上下顎切歯の鑑別点を説明できる。</li> </ol>
4月14日（火） 1限	安藤禎紀講師	<b>骨学：内・外頭蓋底</b>  頭蓋骨を構成する骨を理解し、それぞれの縫合と形成を理解する。 エックス線写真の読影にかかわる骨学を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 脳頭蓋を説明できる。</li> <li>2. 内頭蓋底の神経、血管の通路を説明できる。</li> <li>3. 外頭蓋底の特徴を説明できる。</li> <li>4. 外・内頭蓋底の関連性を説明できる。</li> <li>5. 頭蓋底を区分して説明できる。</li> <li>6. 頭蓋骨の基準平面を説明できる。</li> <li>7. 頭蓋骨計測点を説明できる。</li> </ol>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月17日(金) 1、2限	安藤禎紀講師	<b>上・下顎犬歯</b>  ヒトの犬歯を理解し、スケッチができる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 犬歯の定義を説明できる。</li> <li>2. 上顎犬歯を説明できる。</li> <li>3. 下顎犬歯を説明できる。</li> <li>4. 上下顎犬歯を区別できる。</li> <li>5. 左右側の鑑別点を説明できる。</li> </ol>
4月21日(火) 1限	安藤禎紀講師	<b>骨学：頭蓋前面 眼窩・鼻腔</b>  分離骨、連骨を用いて顔面骨・眼窩の構築を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 眼窩と交通する経路および通過する構造物を説明できる。</li> <li>2. 頭蓋腔と交通する経路および通過する構造物を説明できる。</li> <li>3. 鼻中隔を構成する骨を説明できる。</li> <li>4. 鼻腔を構築する骨の位置関係を説明できる。</li> <li>5. 鼻甲介と鼻道に関連的に説明できる。</li> <li>6. 副鼻腔について説明できる。</li> <li>7. 副鼻腔の鼻腔への開口部を説明できる。</li> </ol>
4月24日(金) 1、2限	安藤禎紀講師	<b>上顎小臼歯</b>  上顎小臼歯を理解し、スケッチができる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小臼歯の概念を説明できる。</li> <li>2. 上顎第一小臼歯を説明できる。</li> <li>3. 上顎第二小臼歯を説明できる。</li> <li>4. 歯の進化を説明できる。</li> <li>5. 第一小臼歯と第二小臼歯を区別できる。</li> <li>6. 左右側の鑑別点を説明できる。</li> </ol>
4月28日(火) 1限	安藤禎紀講師	<b>骨学：口蓋・翼口蓋窩</b>  分離骨、連骨を用いて顔面骨・翼口蓋窩の構築を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 翼口蓋窩と周囲腔の交通を説明できる。</li> <li>2. 頭蓋腔と交通する経路および通過する構造物を説明できる。</li> <li>3. 骨口蓋の構造と接続を説明できる。</li> </ol>
5月8日(金) 1、2限	安藤禎紀講師	<b>下顎小臼歯</b>  下顎小臼歯を理解し、スケッチができる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 下顎小臼歯の概念を説明できる。</li> <li>2. 下顎第一小臼歯を説明できる。</li> <li>3. 下顎第二小臼歯を説明できる。</li> <li>4. 歯の進化を説明できる。</li> <li>5. 第一小臼歯と第二小臼歯を区別できる。</li> <li>6. 左右側の鑑別点を説明できる。</li> </ol>
5月15日(金) 1、2限	安藤禎紀講師	<b>上顎大臼歯</b>  上顎大臼歯の形態と進化、退化を理解し、スケッチができる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上顎大臼歯の概念を説明できる。</li> <li>2. 上顎第一大臼歯の特徴を説明できる。</li> <li>3. 上顎第二大臼歯の特徴を説明できる。</li> <li>4. 咬合圧の負担を説明できる。</li> <li>5. 歯の進化と退化の概念を説明できる。</li> <li>6. 多根歯を説明できる。</li> <li>7. 左右側の鑑別点を説明できる。</li> <li>8. 咬頭数と裂溝の関連性を説明できる。</li> <li>9. 人種差を説明できる。</li> <li>10. 第一大臼歯と第二大臼歯を区別できる。</li> <li>11. 第三大臼歯を説明できる。</li> </ol>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
5月19日(火)  1限	安藤禎紀講師	<b>骨学：上顎骨</b>  上顎骨の形態と上顎神経の経過を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 頭蓋骨における上顎骨の位置を説明できる。</li> <li>2. 上顎骨と接合する骨を説明できる。</li> <li>3. 口蓋の構成を説明できる。</li> <li>4. 鼻腔の構成について説明ができる。</li> <li>5. 上顎の歯の植立を説明できる。</li> <li>6. 上顎洞について説明ができる。</li> <li>7. 上顎歯に分布する神経の経路が説明できる。</li> </ol>
5月22日(金)  1、2限	安藤禎紀講師	<b>下顎大臼歯</b>  下顎大臼歯の形態と進化退化を理解し、スケッチができる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 下顎大臼歯の概念を説明できる。</li> <li>2. 下顎第一大臼歯の特徴を説明できる。</li> <li>3. 下顎第二大臼歯の特徴を説明できる。</li> <li>4. 咬頭の機能を説明できる。</li> <li>5. 臼歯の進化と退化の概念を説明できる。</li> <li>6. 咬頭数と裂溝の関連性を説明できる。</li> <li>7. 左右側の鑑別点を説明できる。</li> <li>8. 人種差を説明できる。</li> <li>9. 第一大臼歯と第二大臼歯を区別できる。</li> </ol>
5月26日(火)  1限	安藤禎紀講師	<b>歯髓腔、歯列、咬合</b>  歯髓腔の形態と加齢変化を理解する。 歯列弓の形態、大きさ、上下顎の咬合状態を理解する。 歯科保存(齶蝕・歯内療法学・歯周療法学)に関連する臨床解剖学を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯髓腔の概念を説明できる。</li> <li>2. 歯の外景と歯髓腔の関連性を説明できる。</li> <li>3. 各歯について歯髓腔形態を説明できる。</li> <li>4. 歯髓腔の加齢変化を説明できる。</li> <li>5. 髓室と根管の区別が説明できる。</li> <li>6. 歯根数と根管数の関連性を説明できる。</li> <li>7. 各歯について根管の特徴を説明できる。</li> <li>8. 歯頸隆線、接触点、辺縁隆線と食物の流れについて説明できる。</li> <li>9. 歯根の数と根管の数、根管形態と歯内療法を関連つけて説明できる。</li> <li>10. 日本人の歯列の形態、大きさの特徴を説明できる。</li> </ol>
5月29日(金)  1、2限	安藤禎紀講師	<b>乳歯総論</b> <b>上・下顎乳切歯</b> <b>上・下顎乳犬歯</b>  乳歯の形態的特徴を理解する。 上・下顎乳切歯を理解し、スケッチができる。 上・下顎乳犬歯を理解し、スケッチができる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 乳歯の概念を説明できる。</li> <li>2. 乳歯の特徴を説明できる。</li> <li>3. 乳歯の萌出を説明できる。</li> <li>4. 歯の交換を説明できる。</li> <li>5. 臼歯結節を説明できる。</li> <li>6. 原始的形態と歯の進化を関連して説明できる。</li> <li>7. 乳切歯の特徴を説明できる。</li> <li>8. 上顎乳中切歯を説明できる。</li> <li>9. 上顎乳側切歯を説明できる。</li> <li>10. 下顎乳中切歯を説明できる。</li> <li>11. 下顎乳側切歯を説明できる。</li> <li>12. 乳犬歯の特徴を説明できる。</li> <li>13. 上顎乳犬歯を説明できる。</li> <li>14. 下顎乳犬歯を説明できる。</li> <li>15. 上下顎乳犬歯の区別を説明できる。</li> <li>16. 永久歯との鑑別点を説明できる。</li> <li>17. 左右側の鑑別点を説明できる。</li> <li>18. 代生歯胚の発育場所を説明できる。</li> </ol>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
6月2日(火)  1限	安藤禎紀講師	<b>永久歯のまとめ</b>  到達度試験 (永久歯、歯髓腔、歯列、咬合)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上下顎歯の鑑別点を説明できる。</li> <li>2. 歯の左右の鑑別点を説明できる。</li> <li>3. 歯種の鑑別点を説明できる。</li> <li>4. 歯の特徴を描写できる。</li> </ol>
6月5日(金)  1、2限	安藤禎紀講師	<b>下顎乳臼歯</b>  下顎乳臼歯の形態と進化を理解し、スケッチができる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 下顎乳臼歯の特徴を説明できる。</li> <li>2. 下顎第一乳臼歯を説明できる。</li> <li>3. 下顎第二乳臼歯を説明できる。</li> <li>4. 第一乳臼歯の原始的形態を説明できる。</li> <li>5. 第二乳臼歯と第一大臼歯の鑑別点を説明できる。</li> <li>6. 左右側の鑑別点を説明できる。</li> </ol>
6月9日(火)  1限	安藤禎紀講師	<b>骨学：下顎骨・舌骨</b>  下顎骨の形態と筋肉の付着、下歯槽神経の分布を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 咀嚼筋の付着部位を説明できる。</li> <li>2. 顎関節の構造を説明できる。</li> <li>3. 舌骨上筋の付着部位を説明できる。</li> <li>4. 下顎の歯の植立を説明できる。</li> <li>5. オトガイの存在理由を説明できる。</li> <li>6. 下顎の歯に分布する神経の経過を説明できる。</li> <li>7. 頬筋ならびに頬棚について説明できる。</li> <li>8. 臼後隆起と臼後三角の関連について説明できる。</li> </ol>
6月12日(金)  1、2限	安藤禎紀講師	<b>上顎乳臼歯</b>  上顎乳臼歯の形態と進化を理解し、スケッチができる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上顎乳臼歯の特徴を説明できる。</li> <li>2. 上顎第一乳臼歯を説明できる。</li> <li>3. 上顎第二乳臼歯を説明できる。</li> <li>4. 上顎第一乳臼歯の原始的形態を説明できる。</li> <li>5. 第二乳臼歯と第一大臼歯の鑑別点を説明できる。</li> <li>6. 臼歯の進化が説明できる。</li> <li>7. 左右側の鑑別点が説明できる。</li> </ol>
6月15日(月)  2限	安藤禎紀講師	<b>骨学：側頭骨</b>  側頭骨の基本的な形態と鼓室と機能を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 側頭骨基本構造が説明できる。</li> <li>2. 顔面神経管の特徴を説明できる。</li> <li>3. 鼓室の特徴を説明できる。</li> <li>4. 側頭骨の管、孔を通過する神経を説明できる。</li> </ol>
6月16日(火)  1限	安藤禎紀講師	<b>骨学：蝶形骨</b>  蝶形骨の形態と孔、裂を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 蝶形骨の基本構造が説明できる。</li> <li>2. 側頭骨、蝶形骨の接続を説明できる。</li> <li>3. 蝶形骨の管、孔を通過する神経を説明できる。</li> </ol>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
6月19日(金) 1、2限	安藤禎紀講師	<b>筋学：咀嚼筋 筋学：表情筋</b>  咀嚼筋の構造と作用を理解する。 表情筋の構造と作用を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各咀嚼筋の構造と作用を説明できる。</li> <li>2. 咀嚼筋の総合的な機能を説明できる。</li> <li>3. 咀嚼筋の神経支配を説明できる。</li> <li>4. 咀嚼筋の栄養血管を説明できる。</li> <li>5. 咀嚼筋隙を区分して説明できる。</li> <li>6. 表情筋の構造と作用を説明できる。</li> <li>7. 口裂周囲筋の構造と作用を説明できる。</li> <li>8. 頬筋の構造と作用を説明できる。</li> <li>9. 表情筋の総合的な機能を説明できる。</li> <li>10. 表情筋の神経支配を説明できる。</li> <li>11. 表情筋の栄養血管を説明できる。</li> <li>12. 口角結節の構造を説明できる。</li> </ol>
6月26日(金) 1限	安藤禎紀講師	<b>骨学：頭蓋骨のまとめ</b>  到達度試験	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 頭蓋骨の連結を説明できる。</li> <li>2. 孔、裂等の通過構造物を説明できる。</li> <li>3. これまでの講義の内容を確実に理解する。</li> </ol>
6月26日(金) 2限	安藤禎紀講師	<b>筋学：舌骨筋</b>  舌骨上筋と舌骨下筋の構造と作用を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 舌骨上筋の構造と作用を説明できる。</li> <li>2. 舌骨下筋の構造と作用を説明できる。</li> <li>3. 舌骨筋の総合的な機能を説明できる。</li> <li>4. 舌骨筋の神経支配を説明できる。</li> <li>5. 側頸筋の構造と作用を説明できる。</li> </ol>
7月3日(金) 1、2限	宮地建夫 非常勤講師  藤村朗教授	<b>欠損歯列の臨床評価法</b>  歯科臨床における咬合の重要性を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床における咬合論を実際の症例を供覧して疑似体験する。</li> </ol>
9月14日(月) 2限	安藤禎紀講師	<b>筋学：頸筋と筋膜</b>  側頸筋と頸椎筋ならびに頸筋膜の拡がりを理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 側頸筋の構造と作用を説明できる。</li> <li>2. 頸椎筋の構造と作用を説明できる。</li> <li>3. 頸筋の神経支配を説明できる。</li> <li>4. 頸筋膜を区分して説明できる。</li> <li>5. 頸部の筋隙を炎症の波及の観点から説明できる。</li> </ol>
9月14日(月) 4限	安藤禎紀講師	<b>筋学：顎関節（咀嚼様式・ヒトの顎関節の特徴）</b>  顎関節の形態と進化を咀嚼様式から理解する。ヒトの顎関節の形態を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 顎関節の特徴を説明できる。</li> <li>2. 蝶番運動と関連する顎関節の形状を説明できる。</li> <li>3. 臼磨運動と関連する顎関節の形状を説明できる。</li> <li>4. 前後運動と関連する顎関節の形状を説明できる。</li> <li>5. 複関節を説明できる。</li> <li>6. 橢円関節の特徴を説明できる。</li> <li>7. 複関節を説明できる。</li> <li>8. 雑食性動物の顎関節を説明できる。</li> <li>9. ヒトの顎関節の形態を説明できる。</li> <li>10. 側方運動と顎関節の相関性を説明できる。</li> <li>11. 顎関節を動かす筋肉を説明できる。</li> <li>12. 顎関節の支配神経を説明できる。</li> </ol>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月15日(火) 2限 9月17日(木) 4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師	<b>歯の解剖と歯科臨床 顎関節と歯の形態</b>  歯の形態が歯科臨床においてどのように利用されているかを理解する。 咬合器の構造と顎関節の違いを理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 咬合面裂溝形態と咬合面齧蝕修復形態の関係を説明できる。</li> <li>2. 総義歯作成時の人工歯の配列基準を説明できる。</li> <li>3. 上・下顎の咬合状態を顎関節の動きと合わせて説明できる。</li> <li>4. 顎関節と歯列の咬合状態から、咬合器の構造と原理を説明できる。</li> <li>5. 平均値咬合器と半調節性咬合器の違いを説明できる。</li> <li>6. フェイスボウ・トランスファーができる。</li> <li>7. 歯の形態と顎関節の運動範囲の関係を説明できる。</li> </ol>
9月18日(金) 1、2限	中沢勝宏 非常勤講師  藤村朗教授	<b>顎関節の構造、動きと咬合</b>  咬合理論と顎関節の構造を臨床的に理解する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 顎関節の基本構想を説明できる。</li> <li>2. 顎関節の加齢変化の特徴を説明できる。</li> <li>3. 補綴臨床における咬合理論を挙げることができる。</li> <li>4. 各咬合理論の相違点を説明できる。</li> <li>5. 咬合理論に関係する顎関節の構造と機能を説明できる。</li> <li>6. 咬合理論に関係する顎関節の運動を制御する機構を説明できる。</li> </ol>
9月25日(金) 1限	安藤禎紀講師	<b>筋学：頭頸部の筋のまとめ</b>  到達度試験	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 頭蓋骨の付着部を説明できる。</li> <li>2. 表情筋の機能を説明できる。</li> <li>3. 咀嚼筋の機能を説明できる。</li> <li>4. 咀嚼運動を説明できる。</li> <li>5. 嚥下運動を説明できる。</li> </ol>
9月28日(月) 2限	安藤禎紀講師	<b>脈管学：頭頸部の動脈 (内頸動脈) 内頸動脈</b>  頭頸部の動脈の走行を理解する。 内頸動脈の走行を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 頭頸部に分布する動脈を説明できる。</li> <li>2. 大動脈弓から分岐する動脈の走行を説明できる。</li> <li>3. 脳の栄養血管、ウィリスの動脈輪を説明できる。</li> </ol>
9月29日(火) 2限	安藤禎紀講師	<b>脈管学：外頸動脈の枝 (上甲状腺動脈、顔面動脈、舌動脈)</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上甲状腺動脈の分岐および走行経路を説明できる。</li> <li>2. 顔面動脈の分岐および走行経路を説明できる。</li> <li>3. 舌動脈の分岐および走行経路を説明できる。</li> <li>4. その他の外頸動脈枝の分布および経路を説明できる。</li> </ol>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月2日(金) 1限	安藤禎紀講師	<b>脈管学:外頸動脈の終枝 (顎動脈、浅側頭動脈)</b>  顎顔面に分布する動脈の分枝と範囲を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>顎動脈の区分および分布領域を説明できる。</li> <li>顎動脈の特徴と人種差を説明できる。</li> <li>口蓋に分布する動脈の走行経路を説明できる。</li> <li>伝達麻酔時の注意すべき顎動脈の走行経路を説明できる。</li> <li>浅側頭動脈の分岐および走行経路を説明できる。</li> <li>浅側頭動脈の動脈内注入法における臨床的意義を説明できる。</li> </ol>
10月6日(火) 2限	安藤禎紀講師	<b>脈管学:頭頸部の静脈</b>  頭頸部の回収経路としての静脈を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>内頸静脈の枝と回収域を説明できる。</li> <li>顎顔面の静脈の特徴を説明できる。</li> <li>翼突静脈叢について説明できる。</li> <li>頭蓋腔内と外との連絡を側副循環の観点で説明できる。</li> <li>海綿静脈洞の側副循環路としての意義を説明できる。</li> <li>静脈洞の特徴を説明できる。</li> </ol>
10月9日(金) 1限	藤村朗教授 安藤禎紀講師	<b>脈管学:頭頸部のリンパ管</b>  頭頸部の回収経路としてのリンパ管を理解する。 顎顔面領域の所属リンパ節を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>顎顔面の所属リンパ節を説明できる。</li> <li>口腔領域の所属リンパ節を説明できる。</li> <li>ワルダイエルの咽頭輪を構成する扁桃、リンパ節を説明できる。</li> <li>腫瘍におけるリンパ管の重要性を説明できる。</li> </ol>
10月13日(火) 2限	安藤禎紀講師	<b>神経学:末梢神経 (脳神経Ⅰ~Ⅳ、Ⅵ、Ⅸ~Ⅻ)</b>  脳神経Ⅰ~Ⅳ、Ⅵ、支配領域と機能を理解する。 舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経と頸神経叢の支配領域と機能を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>脳神経の機能を説明できる。</li> <li>眼の筋肉の支配神経を説明できる。</li> <li>視覚伝達を説明できる。</li> <li>舌咽神経の構成と支配領域を説明できる。</li> <li>血圧と脈拍の調節を説明できる。</li> <li>副交感神経の機能を説明できる。</li> <li>耳下腺の神経支配を説明できる。</li> <li>喉頭の筋肉の神経支配を説明できる。</li> <li>心臓、肺、消化器の神経支配を説明できる。</li> <li>舌筋の神経支配を説明できる。</li> </ol>
10月16日(金) 1限	藤村朗教授 安藤禎紀講師	<b>脈管学:頭頸部の脈管のまとめ</b>  <b>到達度試験</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>頭頸部、全身の動脈、静脈の走行と分布域を説明できる。</li> <li>頭頸部、全身のリンパの走行と分布域を説明できる。</li> </ol>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月20日(火) 2限	安藤禎紀講師	<b>神経学：末梢神経 (脳神経 VII、VIII)</b>  顔面神経と内耳神経の走行と機能を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 顔面神経の構成と作用を説明できる。</li> <li>2. 顔面神経の経過を説明できる。</li> <li>3. 副交感神経の機能を説明できる。</li> <li>4. 第二鰓弓の発生と分布神経を説明できる。</li> <li>5. 顔面神経の障害部位による機能障害を区分して説明できる。</li> <li>6. 表情筋の神経支配を説明できる。</li> <li>7. 聴覚と平衡感覚を説明できる。</li> <li>8. 唾液腺の神経支配を区分して説明できる。</li> </ol>
10月23日(金) 1限	安藤禎紀講師	<b>神経学：末梢神経 (脳神経 V1、V2)</b>  眼神経、上顎神経の経過と支配領域を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上顎神経の支配領域を説明できる。</li> <li>2. 上顎神経の経過を説明できる。</li> <li>3. 上顎神経の枝の構成と機能を説明できる。</li> <li>4. 上顎神経の神経節と機能を説明ができる。</li> <li>5. 口蓋の神経支配を説明できる。</li> <li>6. 上顎歯の神経支配を説明できる。</li> <li>7. 顔面皮膚の神経支配を説明できる。</li> <li>8. 涙腺の神経支配を説明できる。</li> </ol>
10月27日(火) 2限	安藤禎紀講師	<b>神経学：末梢神経 (脳神経 V3)</b>  下顎神経の経過と支配領域を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 下顎神経の支配領域を説明できる。</li> <li>2. 下顎神経の経過を説明できる。</li> <li>3. 下顎神経の枝の構成と機能を説明できる。</li> <li>4. 下顎神経の神経節と機能を説明ができる。</li> <li>5. 舌の神経支配を説明できる。</li> <li>6. 下顎歯の神経支配を説明できる。</li> <li>7. 顔面皮膚の神経支配を説明できる。</li> <li>8. 唾液腺の神経支配を説明できる。</li> <li>9. 咀嚼筋の神経支配を説明できる。</li> <li>10. 第一鰓弓筋の神経支配を説明できる。</li> </ol>
10月30日(金) 1限	安藤禎紀講師	<b>口腔内臓：口腔とは</b>  口腔の範囲を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 口唇の範囲を説明できる。</li> <li>2. 口腔の区分(固有口腔と口腔前庭)を説明できる。</li> <li>3. 口腔、鼻腔、咽頭のつながりを説明できる。</li> <li>4. 口腔の由来を説明できる。</li> </ol>
11月2日(月) 3、4限	井出吉信 非常勤講師  藤村朗教授	<b>咀嚼・嚥下</b>  咀嚼・嚥下に関わる筋学を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 軟口蓋、咽頭の筋肉を説明できる。</li> <li>2. 嚥下のステージと関与する舌骨上筋群の関連を説明できる。</li> </ol>
11月6日(金) 1限	藤村朗教授 安藤禎紀講師	<b>神経学：末梢神経のまとめ</b>  <b>到達度試験</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 12脳神経の走行を説明できる。</li> <li>2. 三叉神経、顔面神経、舌咽神経の分布領域を説明できる。</li> </ol>



月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
11月13日(金) 1限	安藤禎紀講師	<b>口腔内臓：口腔粘膜</b>  口腔を被っている粘膜の種類と機能を理解する。 歯肉の構造、歯周組織と歯の結合を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 粘膜の分類を説明できる。</li> <li>2. 歯肉粘膜の区分とその機能を説明できる。</li> <li>3. 舌乳頭をその機能から説明できる。</li> <li>4. 味蕾の存在する舌乳頭を説明できる。</li> <li>5. 保護粘膜を有する口腔臓器を示すことができる。</li> <li>6. 歯肉の区分を説明できる。</li> <li>7. 歯周疾患罹患時の歯周組織の変化を説明できる。</li> <li>8. 歯の萌出から、歯と歯肉上皮の結合を形態的に説明できる。</li> <li>9. 歯肉、歯周組織の老化における変化を説明できる。</li> <li>10. 人工歯根埋植時の歯周組織の変化を説明できる。</li> </ol>
11月20日(金) 1限	安藤禎紀講師	<b>口腔内臓：口蓋</b>  口蓋を構成する骨、筋肉を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 硬口蓋を構成する骨を説明できる。</li> <li>2. 軟口蓋を構成する筋肉の構成と支配神経を説明できる。</li> <li>3. 軟口蓋の筋肉と咽頭、喉頭の筋肉との関係を説明できる。</li> <li>4. 口蓋の構造と総義歯作成に関する注意点を説明できる。</li> </ol>
11月27日(金) 1限	安藤禎紀講師	<b>口腔内臓：舌</b>  舌を構成する筋肉、運動・知覚神経支配、味覚神経を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 内舌筋、外舌筋の起始、停止、機能を説明できる。</li> <li>2. 舌下神経の走行経路と分布域を説明できる。</li> <li>3. 知覚神経の種類と支配領域を説明できる。</li> <li>4. 味覚を支配する神経の走行経路を説明できる。</li> <li>5. 味覚障害と他の疾患との組み合わせにより、障害部位を特定できる。</li> </ol>
12月4日(金) 1限	安藤禎紀講師	<b>口腔内臓：唾液腺</b>  唾液腺の種類と支配神経を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 唾液腺の構造および分類を説明できる。</li> <li>2. 唾液腺の神経支配を、神経の走行と障害を関連づけて説明できる。</li> </ol>
12月11日(金) 1限	安藤禎紀講師	<b>口腔内臓：咽頭</b>  咽頭を構成する筋肉を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 咽頭を構成する筋肉を説明できる。</li> <li>2. 口輪筋との関係を説明できる。</li> <li>3. 嚥下の機構を説明できる。</li> </ol>
12月15日(火) 2限	水川卓磨助教 (歯科矯正学分野)  藤村朗教授	<b>頭部エックス線規格写真(セファログラム)と頭部計測基準点</b>  歯科矯正、歯科放射線に関連する臨床解剖学を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 頭蓋骨の肉眼標本と頭部エックス線規格写真を対比し、矯正歯科的基準点を理解する。</li> <li>2. 頭蓋骨の基準平面、計測点を説明できる。</li> <li>3. X線セファログラムの計測点を説明できる。</li> </ol>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
12月18日(金) 1限	菊月圭吾 非常勤講師  藤村朗教授	<b>個人識別における歯科の役割</b>  デンタルチャートの記入項目を把握する。 照合作業の実際を理解する。	1. 歯種による形態の違いを説明できる。 2. 歯種ごとの形態と個人識別の可能性を説明できる。 3. デンタルチャートに記入できる。 4. 岩手県で開発した「36検索」をコンピュータで体験し、照合判定ができる。
1月22日(金) 1、2限	藤村朗教授 安藤禎紀講師	<b>口腔内臓：臨床との関連性</b>  歯科補綴、口腔外科に関連する臨床解剖学を理解する。	1. 印象採得に関連する解剖学的構造を説明できる。 2. 手術の際の切開線の位置について説明できる。 3. 頸部廓清に関連するリンパ節および転移経路について説明できる。

#### 彫刻実習日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月16日(木) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教	<b>【上顎中切歯】</b> 石膏彫刻をすることにより、歯の形態を立体的に理解し、特に臨床では見えない歯冠と歯根の位置関係を想像できるようになる。  上顎中切歯の形態を理解する。	1. 石膏操作が行える。 2. 歯の方向を示す用語が説明できる。 3. 歯の構造を示す用語が説明できる。歯のスケッチが行える。 4. 上顎中切歯の形態が説明できる。 5. 切歯の左右側識別点を説明できる。 6. 上顎中切歯を立体的に把握できる。 7. 情報伝達の手段として上顎中切歯の形態が描ける。
4月23日(木) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教	<b>【上顎中切歯】</b>  上顎中切歯の形態を理解する。	1. 上顎中切歯の形態が説明できる。 2. 切歯の左右側識別点を説明できる。 3. 上顎中切歯を立体的に把握できる。 4. 情報伝達の手段として上顎中切歯の形態が描ける。
5月14日(木) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教	<b>【上顎第一小臼歯】</b>  上顎第一小臼歯の形態を理解する。	1. 上顎第一小臼歯の形態が説明できる。 2. 上顎第一小臼歯の左右側の鑑別点を説明できる。 3. 上顎第一小臼歯を立体的に把握できる。 4. 情報伝達の手段として上顎第一小臼歯の形態が描ける。
5月21日(木) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教	<b>【上顎第一大臼歯】</b>  上顎第一大臼歯の形態を理解する。	1. 上顎第一大臼歯の形態が説明できる。 2. 上顎第一大臼歯の左右側識別点を説明できる。 3. 上顎第一大臼歯を立体的に把握できる。 4. 情報伝達の手段として上顎第一大臼歯の形態が描ける。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
5月28日(木) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教	<b>【下顎第一大臼歯】</b> 下顎第一大臼歯の形態を理解する。	1. 下顎第一大臼歯の形態が説明できる。 2. 下顎第一大臼歯の左右側を説明できる。 3. 下顎第一大臼歯を立体的に把握できる。 4. 情報伝達的手段として下顎第一大臼歯の形態が描ける。
6月4日(木) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教	<b>【上顎乳中切歯】</b> <b>【上顎乳犬歯】</b> 上顎乳中切歯・上顎乳犬歯の形態を理解する。	1. 上顎乳中切歯・上顎乳犬歯の形態が説明できる。 2. 乳切歯・乳犬歯の左右側識別点を説明できる。 3. 上顎乳中切歯・上顎乳犬歯を立体的に把握できる。 4. 情報伝達的手段として上顎乳中切歯・乳犬歯の形態が描ける。
6月11日(木) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教	<b>【下顎第一乳臼歯】</b> 下顎第一乳臼歯の形態を理解する。	1. 下顎第一乳臼歯の形態が説明できる。 2. 下顎第一乳臼歯の左右側を説明できる。 3. 下顎第一乳臼歯を立体的に把握できる。 4. 情報伝達手段として下顎第一乳臼歯の形態が描ける。

#### 臨床解剖実習日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月15日(火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 柘一毅助教	オリエンテーション §1 くび・胸・腹部の体表観察と皮切 §2 広頸筋と乳腺 §3 胸腹部の皮静脈と皮神経	
9月16日(水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 柘一毅助教	§4 大胸筋と外腹斜筋 §5 頸神経叢の枝と胸鎖乳突筋	

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月18日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 枡一毅助教	§6 背なかの皮切り §7 背なかの浅筋	
9月25日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 枡一毅助教	§8 くびのやや深層 §9 胸部の深層と腋窩 §10 鎖骨下動静脈とその枝  §73 顔の浅層	
9月29日(火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 枡一毅助教	§11 うでの皮切りと腕神経叢 §12 上腕屈側の筋と神経	
9月30日(水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 枡一毅助教	§13 肩甲骨の前面の筋 §14 上腕伸側と肩甲骨背面の筋 §15 上肢の切り離し	

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月2日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 枡一毅助教	§16 前腕屈側の浅い層 §18 手のひらの皮切りと 手掌腱膜 §19 手のひらの浅い層	
10月6日(火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 枡一毅助教	§17 前腕の伸側と手背 §20 手の深い層	
10月7日(水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 枡一毅助教	§21 上肢の血管と神経 のまとめ §22 肩の関節とその周 辺 §23 ひじの関節 §24 手くびの関節 §25 手と指の関節	
10月9日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 枡一毅助教	§53 下肢の皮静脈と皮 神経 §55 大腿前面の深層	

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月13日(火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 柘一毅助教	§54 大腿筋膜と大殿筋 §56 殿部の深層 §57 大腿後面の深層	
10月14日(水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 柘一毅助教	§58 膝窩と下腿後面 §59 下腿の前面と足背 §60 足底	
10月16日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 柘一毅助教	§61 下腿の最深層 §62 膝の関節 §63 足の関節	
10月20日(火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 柘一毅助教	§29 胸壁 §30 鼠径部と側腹筋群	

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月21日(水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 柘一毅助教	§31 腹直筋鞘 §32 横筋筋膜と腹膜 §33 臍 §34 腹部内臓の自然位での観察	
10月23日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 柘一毅助教	§35 胸腔を開く §36 胸膜と心膜 §37 肺	
10月27日(火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 柘一毅助教	§38 くびの根もとの深層 §39 縦隔 §40 心臓の外景	
10月28日(水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 柘一毅助教	§41 心臓の内景 §42 縦隔の深部	

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月30日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 柘一毅助教	§43 腹部内臓の位置 §44 腹膜と腹膜腔 §45 腹部内臓に分布する血管と神経	
11月4日(水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 柘一毅助教	§46 空腸と回腸と結腸 §47 胃 §48 肝臓 §49 十二指腸・膵臓・脾臓 §50 腎臓と副腎	
11月6日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 柘一毅助教	§51 後胸壁と後腹壁 §52 横隔膜と腰神経叢	
11月10日(火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 柘一毅助教	§26 胸腰筋膜と固有背筋 §27 後頭下の筋 §28 脊髄(脊柱管開放)	



月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
11月11日(水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 枡一毅助教	頭蓋冠切断(技術員対応) §77 脳出し §28 脊髄(取り出し) 腰椎離断	
11月13日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 枡一毅助教	§64 膀胱とその周辺 §65m 男性の外陰部と精巣 §65f 女性の外陰 §66m 男性の会陰 §66f 女性の会陰 §74 咽頭 §75 甲状腺と気管 §76 喉頭	
11月17日(火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 磯貝純夫准教授 齋野朝幸教授 燕軍講師 中野真人助教 枡一毅助教	§67 骨盤の切半 §68m 男性の骨盤内臓の位置 §68f 女性の骨盤内臓の位置 §69 骨盤の血管と神経 §70m 男性の骨盤内臓 §70f 女性の骨盤内臓 §71 骨盤壁の筋と股関節	
12月2日(水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授	口腔、舌、翼突下顎隙 脳外面、脳硬膜、脳の血管、脳神経	
12月4日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授	眼窩、眼球 脳幹と小脳、橋と延髄 鼻腔、軟口蓋、硬口蓋 咽頭、喉頭、甲状腺、気管 大脳の断面(正中矢状断面、水平断面、前額断面) 脳室	
12月8日(火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授	咀嚼筋(咬筋と側頭筋)、 顎関節、顎関節静脈叢	

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
12月9日(水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授	咀嚼筋(外側翼突筋、内側翼突筋)、翼突筋静脈叢、内頸静脈の枝と下顎後静脈	
12月11日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授	側頭下窩 顎動脈、外頸動脈の枝のまとめ 大脳の断面(正中矢状断面、水平断面、前額断面) 脳室	
12月15日(火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授	舌下神経管、頸静脈孔の剖出 舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経	
12月16日(水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授	外耳、中耳の剖出 耳介、耳小骨、乳突蜂巣、鼓索神経 内耳 聴覚平衡器官と顔面神経管	
12月18日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授	鼓索神経の走行 断面において大脳神経核	
1月5日(火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授	翼口蓋窩、翼口蓋神経節 脳幹、小脳、脊髓の断面	
1月8日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授	上顎神経、上歯神経叢	
1月12日(火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授	下顎神経、耳神経節、下歯槽神経、下歯神経叢	
1月19日(火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 鍵谷忠慶助教 藤原尚樹准教授	納棺	

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書名	著者氏名	発行所	発行年
教	ヴォルフ カラー 人体解剖学図譜	Petra Köpf -Maier、井上貴央 編	西村書店	2011年
教	日本人永久歯の解剖学	上條雍彦 著	アナトーム社	1962年
教	図説口腔解剖学 1～5 巻 3版	上條雍彦 著	アナトーム社	2006年
教	口腔顎顔面解剖ノート	藤村朗ほか編、井出吉信 監修	学建書院	2014年
教	解剖実習の手びき 第11 版	寺田春水、藤田恒夫	南山堂	2004年
参	口腔解剖学	井出吉信ほか編	医歯薬出版	2009年
参	分担 解剖学 改訂11版 全3巻	森於菟ほか著	金原出版	1982年
参	日本人体解剖学 19版 全2巻	金子丑之助 原著	南山堂	2000年
参	Gray's Anatomy for Students	Richard Drake, A. Wayne Vogl ほか著	Churchill Livingstone(Lon don)	2006年

成績評価方法

講義と実習を総合して合計が65点以上を合格とする。  
内訳：到達度試験（永久歯・骨学・筋学・脈管学・神経学：30%）、前期試験（20%）、後期試験・実習試験（30%）、講義・実習における各節ごとに課すスケッチ・ポートフォリオ・提出物等（20%）とする。

オフィスアワー

氏名	方式	曜日	時間帯	備考
藤村 朗	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言または e-mail : akifuji@iwate-med.ac.jp に書き込む
安藤 禎紀	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言または e-mail : yoando@iwate-med.ac.jp に書き込む
鍵谷 忠慶	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言または e-mail : tkagiya@iwate-med.ac.jp に書き込む
藤原 尚樹	B-i	月～金		空いていれば随時
佐藤 洋一	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言
磯貝 純夫	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言
斎野 朝幸	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言
燕 軍	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言
中野 真人	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言
枡 一毅	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言

授業に使用する機械・器具と使用目的

[解剖学]

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
めがね不要立体映像表示器	NSL CD2000-5	1	基礎実習・研究用機器	実習において、映像を立体的に把握させるのに用いる。
電子複写機	MEDIO IR3300F	1	基礎実習・研究用機器	講義の資料の作成
高精度デジタルフィルムレコーダー一式	PERSONAL LFR PRO	1	視聴覚用機器	講義のプレゼンテーション用
ネットワークアタッチドストレージシステム一式	NAS PNS403-1000	1	基礎実習・研究用機器	講義資料の一括管理と資料の作成
デジタルマイクロスコープ一式	DS-3UX	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料提示用
顕微鏡用デジタルカメラ一式	DS-5Mc-U2 他	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成と提示用
パソコン	MA970J/A ZOEM	1	基礎実習・研究用機器	講義の視覚素材資料作成
大型2周波超音波洗浄器	7-5648-12	1	基礎実習・研究用機器	解剖実習器材の洗浄
デジタル一眼レフカメラ一式	D700	1	基礎実習・研究用機器	解剖実習遺体の破格症例の画像記録
パソコン一式	XPS730	1	基礎実習・研究用機器	解剖実習遺体の破格症例のデータ保存及び画像処理 切片からの3D再構築・画像作成
ハードディスク	HDL-GTR3.0	1	基礎実習・研究用機器	解剖実習の画像データ一括保存
A3スキャナ	ES-10000G	1	基礎実習・研究用機器	大型切片画像データの入力
Smart-UPS 750 ClubAPC 限定モデル	SUA750JBCL	1	基礎実習・研究用機器	講義及び研究データ保存用
冷蔵庫	SR361T	1	基礎実習・研究用機器	実験・実習試料及び試薬の保存
ノートパソコン・一式	CFS9LYFEDR	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料提示用
デジタルマイクロスコープ	VHX-1000/10 20	1	基礎実習・研究用機器	実験・実習資料のデジタルデータ採取・保存。講義での供覧
画像連結システム一式		1	基礎実習・研究用機器	大割切片の撮影、タイリング像の作成
デスクトップパソコン一式	B4F75PA_ABJ	1	基礎実習・研究用機器	大容量画像の処理、立体再構築像作成
3次元カラー造形機 Z Printer450 一式		1	基礎実習・研究用機器	CT 3D 画像の実体化による講義のため